

2027年度

生徒募集要項

特色ある土佐の入試

2011年度より、他の学校には見られない独自の入試を実施しています。
その特色の主な部分は以下の通りです。

①入試の方式

- ・ 入試にはS方式とH方式という2つの受験方式があります。
- ・ S方式、H方式の出願資格や選抜方法をよく考えた上で受験方式を決定してください。
- ・ 出願の際には、S方式とH方式のどちらか1つの受験方式を選択してください。

②募集人数

- ・ 募集人数はS方式とH方式を合わせて約50名です。

③出願資格

- ・ S方式の出願資格は、志願者本人が「2027年3月に中学校卒業見込みの者で、合格した際は必ず本校に入学すると確約できる者」であることです。
- ・ H方式の出願資格は、志願者本人が「2027年3月に中学校卒業見込みの者、または2026年3月に中学校卒業の者」であることです。

④選抜方法

- ・ S方式、H方式ともに筆記試験〔国語・社会・理科・英語（リスニングを含む）・数学の5教科、各100点で合計500点満点〕を行い、受験生全員に同じ試験問題を課します。
- ・ それぞれの方式で500点満点の成績を算出し、両方式を合わせて順位付けします。この成績結果と面接の結果を総合的に判断して、可否を決定します。

・ S方式での成績の算出

2つの成績AとBを算出し、AとBのうち高い方の得点をS方式での成績とします。

成績Aは、筆記試験のみの総得点(500点満点)です。

成績Bは、筆記試験の総得点を圧縮したもの(その割合は非公表です)に、**学習実績**(3年次の評定平均値)を点数化したものを加算し、さらに、**課外活動・学外活動における実績**(1年次～3年次)がある場合にはその実績を点数化したものを加算した合計得点(500点満点)です。

たとえば、次の2つの例のように成績を算出します。

例1	筆記試験	A 350点
	筆記試験	実績 B 390点

この人の成績は390点となります

例2	筆記試験	A 380点
	筆記試験	実績 B 350点

この人の成績は380点となります

・ H方式での成績の算出

筆記試験のみの総得点(500点満点)をH方式での成績とします。

土佐高等学校 生徒募集要項

土佐高等学校入学試験の受験方式には、S方式とH方式の2つがあります。

2つの方式の大きな違いは出願資格と選抜方法が異なることです。前頁の「特色ある土佐の入試」の部分や、以下に記載されている出願資格と選抜方法の部分を熟読して、その違いを把握してください。そして、どちらの受験方式が自分にとって適しているのかを検討した上で、出願の際にS方式とH方式のうち、どちらか1つの受験方式を選んで届け出てください。なお、S方式を選んだ場合には、合格した際に必ず本校に入学するという確約の署名、捺印を求めます。

1. 募集人数 第1学年男女 S方式とH方式を合わせて約50名

2. 出願資格

S方式の出願資格	H方式の出願資格
2027年3月に中学校卒業見込みの者で、合格したら必ず本校に入学すると確約できる者。	2027年3月に中学校卒業見込みの者、または2026年3月に中学校卒業の者。

3. 出願手続

(1) 出願書類の受付期間

2027年1月5日(火)から1月9日(土)まで

持参する場合は 受付時間 平日は午前9時～午後4時

土曜日は午前9時～正午

郵送する場合は 2027年1月9日(土) 正午必着

(2) 出願書類の提出方法

出願書類をとりまとめ、入試出願用の封筒に入れて、受け付け期間内に提出する。

郵送の場合は「書留郵便」とする。

(3) 出願書類等の提出先

土佐高等学校事務室 入試係

〒780-8014 高知市塩屋崎町一丁目1番10号

TEL 088-833-4394

(4) 出願に必要な書類等

入学志願票、受験票・写真票、受験票送付用封筒は、この生徒募集要項に添付してあるものを使用する。受験方式届出・確約・志望理由書、調査書、活動記録報告書は、この生徒募集要項に添付してあるものか、本校ホームページよりダウンロードしたものか、もしくは同じ様式でパソコン等により自ら作成したA4サイズのものを使用すること。

出願書類等	注 意 事 項
入 学 志 願 票	・氏名と現住所は、志願者本人の住民票記載通りとする。 ・男子志願者で向陽寮への入寮を希望する場合は「希望する」を丸で囲む。入寮を希望しない場合や女子志願者は「希望しない」を丸で囲む。
受験票・写真票	・受験票、写真票にそれぞれ志願者本人の同一写真を貼る。 ・写真は3ヶ月以内に撮影したもので、正面上半身、無帽、無背景、縦4cm×横3cmの大きさとする。写真裏面に志願者の氏名を書く。 ・受験票と写真票を切り離さないこと。
受験方式届出・ 確約・志望理由書	・受験方式届出の部分のS方式、H方式の欄のどちらか一方に必ず○印を記入する。 ・S方式で出願する志願者は、「合格した際は必ず本校に入学する」という確約の部分に署名し、保護者は署名、捺印をする。 ・S方式、H方式の届け出によらず志望理由の部分には、志願者が自筆で本校を志望する理由を記入する。
調 査 書	・学校長が作成し厳封する。 ・記入にあたっては調査書の用紙の裏面を参照する。 ・評定平均値の計算、四捨五入の間違いに注意する。
入 学 検 定 料	10,000円 ・持参する場合は現金または「郵便為替」とし、郵送する場合は必ず「郵便為替」とする。 ・「郵便為替」の指定受取人の欄には何も記入しない。
受験票送付用封筒	・一般入試受験票送付用封筒に必要額の切手（速達を希望する場合も同様）を貼付し宛名を記入する。 ・出願書類を直接持参する場合、受験票送付用封筒は不要である。
活動記録報告書	・S方式で出願する志願者は、課外活動・学外活動における実績があれば、活動記録報告書を提出することができる。 ・活動記録報告書を提出する場合、その実績を証明する資料を添付しなければならない。（4ページ参照）

- 注意**
1. 黒のボールペンで明確に記入する。
 2. 誤記の場合は、二重線を引いて訂正し、訂正印（記載者の印）を押す。
 3. どの書類も※印の欄には何も記入してはいけない。
 4. 入学後であっても、記載された内容が事実と相違することが判明した場合は、入学許可を取り消すことがある。
 5. 向陽寮への入寮希望の有無が合否に関係することはない。
 6. 提出書類等に記載すべき事項の記入もれや不備がある場合は、出願書類等を受理しないことがある。
 7. 提出された書類や入学検定料は、理由のいかんを問わず返却しない。
 8. 提出された個人情報、本校の入試のためにのみ使用し、その他の目的に使用したり、第三者に提供したりしない。

■「課外活動・学外活動における実績」について

- (1)課外活動・学外活動における実績とは、次のA、B、Cのような内容で、中学校在学中に挙げた実績でなければならない。中学校入学以前のものは実績には含めない。

- A. 地区大会、県大会、それ以上の大会、各種コンクールで挙げた優秀な成績。
 B. 各方面で、客観的に認められる、卓越した技量、能力を有すること。
 C. 英語検定準2級以上の取得、漢字検定2級以上の取得、数学検定2級以上の取得、
 ことも県展での推薦、特選受賞、読書感想文コンクールでの上位受賞等。

- (2)活動記録報告書と添付資料はクラス担任、保護者、団体の責任者等が作成する。

- (3)作成する際の注意点は以下の通りである。

①活動記録報告書

- ・実績を「分野ごと学年順に」箇条書きにして、それぞれの実績に対応する添付資料の参照箇所と枚数を明示する。
- ・個人の実績でなく団体の実績（たとえば、野球、サッカー、吹奏楽等での実績）の場合は、本人の状況を把握する必要があるので、本人の団体でのポジション、役割、貢献度を必ず書き添えておく。
- ・運動部で「スポーツテスト」を実施していれば、その記録も書くことが望ましい。
- ・実績の分野が複数にわたる場合は、適当な代表者（たとえば、クラス担任）が一括して作成してもかまわない。あるいは実績の分野ごとにそれぞれの代表者が作成してもよい。
- ・実績の分野ごとにそれぞれの代表者が作成する場合や、1枚に書ききれない場合は2枚以上にして作成してもかまわない。
- ・相違ないことを証明する部分には、作成者の所属、部署を明らかにした上で、署名、捺印をする。

②添付資料

- ・活動記録報告書の実績を客観的に証明するもので、たとえば、資格を証明するもの、表彰状、新聞等のコピー（日付つき）などが該当する。
- ・用紙の大きさはA4サイズとする。
- ・添付資料がない場合にはその実績は評価できない。

4. 入学試験等

(1)入学試験日

2027年1月21日（木）、1月22日（金）。試験の日程は次の表の通り。

	1月21日（木）	1月22日（金）
集合	集合時刻は両日ともに 8：40 集合場所は本校6階にある「筆山ホール」	
1限	国語（50分） 9：00～ 9：50	英語（リスニングを含む）（50分） 9：00～ 9：50
2限	社会（50分） 10：10～11：00	数学（50分） 10：10～11：00
3限	理科（50分） 11：20～12：10	面接（1人約10分） 11：20～

(2)選抜方法

- ・ S方式、H方式ともに5教科の筆記試験〔国語・社会・理科・英語（リスニングを含む）・数学、各100点で合計500点満点〕を行い、受験生全員に同じ試験問題を課す。
- ・ S方式、H方式それぞれの方法で500点満点の成績を算出し、両方式を合わせて受験生全員に順位付けする。この成績結果と面接の結果を総合的に判断して、可否を決定する。

・ S方式での成績の算出

2つの成績AとBを算出し、AとBのうち高い方の得点をS方式での成績とする。
成績Aは、筆記試験のみを採点した総得点（500点満点）とする。
成績Bは、筆記試験の総得点を圧縮したもの（その割合は非公表）に、学習実績（3年次の評定平均値）を点数化したものを加算し、さらに、1年次から3年次までの間に挙げた課外活動・学外活動における実績がある場合はその実績を点数化したものを加算した合計得点（500点満点）とする。

・ H方式での成績の算出

筆記試験のみを採点した総得点（500点満点）をH方式での成績とする。

(3)受験についての注意

- ・ 試験開始から30分以上遅刻した場合は受験することができない。
- ・ 当日持参するものは、受験票、筆記用具（鉛筆もしくはシャープペンシル、消しゴム、定規、コンパス、下敷き）、腕時計、上履きなど。分度器や計算用紙を持参して使用してはいけない。下敷きは無地のものを使用すること。万一、受験票を紛失したり忘れた場合は申し出ること。
- ・ 不正行為が発覚した場合は直ちに試験を打ち切り、不合格とする。携帯電話等の通信可能な機器を試験場に持ち込むことは不正行為とみなすので、特に注意すること。
- ・ 試験教室の下見の機会は設けない。

(4)付き添い

- ・ 付き添いは必ずしも必要ではない。面接は個人面接であり、保護者の面接はない。
- ・ 付き添いの方の控室は中学棟2階図書室とし、それ以外への立ち入りは禁止とする。なお、図書室では、静粛にするとともに飲食などは原則禁止とする。
- ・ 校内への自動車の乗り入れはできない。

5. 合格発表

- ・ 2027年1月23日（土）午後4時（予定）
- ・ 合格者の受験番号を本校ホームページおよび中学昇降口前に掲示する。
- ・ 電話による問い合わせには一切応じない。

6. 入学手続き

- ・2027年1月25日(月)・26日(火)に、入学金16万円と建設協力金10万円を郵便局から払い込む(手数料は不要)。
- ・払い込みの際には、この生徒募集要項に添付の「払込取扱票」(入学金・建設協力金納付用)を用いる。
- ・この入学手続きをとらない場合、入学の意志がないものとみなす。
- ・入学手続きをした後、2027年3月31日(水)午後4時までに書面(様式自由)で入学辞退届を本校事務室入試係に提出した場合に限り、建設協力金のみを返還する。

7. 合格者集合

- ・2027年2月11日(木)午前10時から、本校6階筆山ホールにおいて、入学についての説明や諸注意を行う(約2時間の予定)。
- ・入学手続きをした合格者は、保護者とともに出席しなければならない(上履き、筆記用具持参)。
- ・やむを得ない事情によって本人または保護者が出席できない場合は、事前に申し出なければならない。欠席した場合、入学の意志がないものとみなす。
- ・当日は物品販売(本校バッジ、上履き、体操服など)を予定している。

8. その他

(1)保証人

入学に際しては、成年の独立生計者(保護者とは別に生計を営む)で保護者の代理となり得る保証人を必要とする。

(2)授業料など

2027年度の授業料等納入金の内訳は次の表の通りである。

毎月の納入	
授業料	44,000円
振興会費	1,000円
計	45,000円

4月のみ納入	
クラブ遠征費	1,500円
振興会入会金	1,000円
向陽会入会金	200円
向陽会費	2,200円
その他諸費	1,000円
計	5,900円

(3)学納金の軽減措置(2026年度実施)

①国が行う高等学校等就学支援金

授業料の支援として、日本国籍を有する者、日本国内に住所を有する者のうち、在留資格等を有する者に「就学支援金」が国から支給される。

月額	年額
38,100円	457,200円

②学校独自の減免制度

- ・「市町村民税所得割額」が0円(非課税)の世帯及び生活保護世帯全額免除

入試のデータ

(2026年度)

①入試の状況

受験方式	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
S方式	54	54	48	48
H方式	17	17	15	5
合計	71	71	63	53

- ・全体の競争率は1.13倍、S方式の競争率は1.1倍、H方式の競争率は1.1倍。
- ・H方式で入学を辞退した10名の内訳は、県内4名、県外6名。

②各教科の平均点・合格者平均点・最高点、合格者成績の最高点・最低点

教科	国語	社会	理科	英語	数学
平均	62	68	61	72	75
合格者平均	64	70	64	74	79
最高	89	88	98	98	100

- ・筆記試験5教科の合計の平均点は、全体の平均が347点、S方式の平均が344点、H方式の平均が358点。

	全体	S方式	H方式
合格者最高	473	417	473
合格者最低	279	279	293

③S方式で合格した受験生の成績の実例

例1

成績 A	327
成績 B	333
入試成績	333

例2

成績 A	352
成績 B	364
入試成績	364

例3

成績 A	321
成績 B	357
入試成績	357

例4

成績 A	373
成績 B	397
入試成績	397

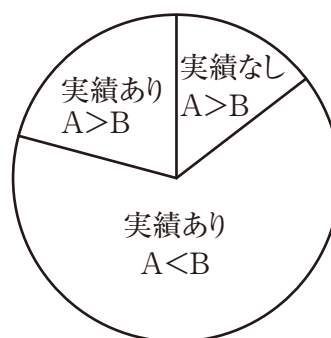
例5

成績 A	346
成績 B	332
入試成績	346

例6

成績 A	412
成績 B	367
入試成績	412

- ・S方式の合格者は、課外活動・学外活動における実績の有無と成績AとBの大小により、「実績あり、A>B」、「実績あり、A<B」、「実績なし、A>B」のどれかに属する。右の図はこれらの割合を円グラフにしたもの。
- ・A<Bの場合、成績Aが少し低くても実績の度合いでBの成績がかなり高くなり合格することもある。(例1、例2、例3、例4を参照のこと)



入試のデータ

(2025年度)

①入試の状況

受験方式	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
S方式	53	53	47	47
H方式	12	12	11	5
合計	65	65	58	52

- ・全体の競争率は1.12倍、S方式の競争率は1.1倍、H方式の競争率は1.1倍。
- ・H方式で入学を辞退した6名の内訳は、県内6名、県外0名。

②各教科の平均点・合格者平均点・最高点、合格者成績の最高点・最低点

教科	国語	社会	理科	英語	数学
平均	62	57	60	67	61
合格者平均	64	58	61	69	63
最高	88	80	86	91	100

- ・筆記試験5教科の合計の平均点は、全体の平均が324点、S方式の平均が329点、H方式の平均が301点。

	全体	S方式	H方式
合格者最高	412	412	345
合格者最低	274	274	274

③S方式で合格した受験生の成績の実例

例1

成績 A	310
成績 B	338
入試成績	338

例2

成績 A	326
成績 B	362
入試成績	362

例3

成績 A	313
成績 B	353
入試成績	353

例4

成績 A	277
成績 B	290
入試成績	290

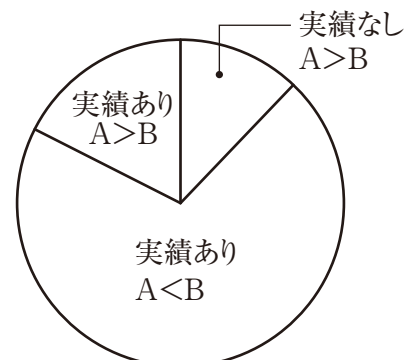
例5

成績 A	374
成績 B	373
入試成績	374

例6

成績 A	393
成績 B	363
入試成績	393

- ・S方式の合格者は、課外活動・学外活動における実績の有無と成績AとBの大小により、「実績あり、 $A > B$ 」、「実績あり、 $A < B$ 」、「実績なし、 $A > B$ 」のどれかに属する。右の図はこれらの割合を円グラフにしたもの。
- ・ $A < B$ の場合、成績Aが少し低くても実績の度合いでBの成績がかなり高くなり合格することもある。(例1、例2、例3、例4を参照のこと)



以下には、出願書類として次の書類を添付してある。
いずれの書類も左側のミシン線より切り離して使用する。

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1. 入学志願票 | |
| 2. 入試受験票・入試写真票 | → 受験票と写真票を切り離さないこと |
| 3. 受験方式届出・確約・志望理由書 | これらの書類は本校ホームページよりダウンロードすることができる |
| 4. 土佐高等学校入学志願者調査書 | |
| 5. 活動記録報告書 | |

「出願用の封筒」、「受験票送付用の封筒」を挟み込んである。

- | |
|---------------|
| 6. 入試出願用封筒 |
| 7. 入試受験票送付用封筒 |

さらに、入学手続きの際に使用する「払込取扱票」、(入学金、建設協力金納付用)を挟み込んである。

- | |
|-----------------------------|
| 8. 払込取扱票 (郵便局から払い込むときに使用する) |
|-----------------------------|

2027年度土佐高等学校入試

受験方式届出・確約・志望理由書

学校名	中学校	氏名		番号	※
-----	-----	----	--	----	---

受験方式の届出

S方式	H方式

あなたはS方式とH方式のうち、どちらの方式で受験しますか。希望する受験方式の欄に○印をはっきりと記入してください。

確約 上でS方式の届け出をした場合、志願者本人とその保護者の方は、以下の確約に署名、捺印をしてください。H方式の届け出をした場合は不要です。

土佐高等学校長 五百蔵 誠一 様			
2027年度土佐高等学校入学試験に合格した際は			
貴校に入学することを確約します	西暦	年	月 日
志願者氏名	_____		
保護者氏名	_____	⑩	

志望理由 あなたが本校を志望する理由を書いてください。
S方式、H方式の受験方式によらず、必ず志願者本人が書いてください。

調査書の記入について

(1) 「志願者」の欄

氏名はふりがなをつける。性は○で囲む。現住所は都道府県名から書き始め、番地まで記入する。卒業見込・卒業のうち該当するものを○で囲み、その年月を記入する。

(2) 「各教科の学習の記録」の欄

〔評定〕

第1・第2学年の各教科の評定は指導要録に記載されたもの(5段階評定)を転記する。第3学年の各教科の評定は12月末までの成績を総合して、10段階で記入する。ただし、高知県外の中学校において、5段階で評価されている場合は、5段階で記入してよい((8)「備考」の欄を参照)。また、2026年3月卒業の者については、指導要録に記載されている5段階の評定を転記する。

〔第3学年の観点別学習状況〕

全教科の観点は下の表を参照のこと。

評価については、12月末までの学習状況を総合してA、B、Cの3段階で表し、そのうちのAとCについてのみ記入する。ただし、2026年3月卒業の者の評価については、指導要録に記載されているもののうち、AとCについてのみ転記する。

全教科	観 点	
	I	知識・技能
	II	思考・判断・表現
全教科	III	主体的に学習に取り組む態度

〔第3学年の学習成績〕

評定平均値は、第3学年の9教科の10段階評定を平均したもので、小数第2位を四捨五入して小数第1位までの小数で記入すること。5段階で評価されている場合も同様に、5段階評定を平均したものとする((8)「備考」の欄も参照)。

順位は、第3学年の9教科の10段階評定の総合点によって、クラス単位に定めるものとする(同点の場合は同番とし、次番を欠番とする)。5段階で評価されている場合も同様に、5段階評定の総合点によって定めるものとする((8)「備考」の欄も参照)。

(3) 「特別活動の記録」の欄

第1・第2学年については指導要録に記載されたものを転記し、第3学年については12月末までの活動において、十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に「○」印を記入する。ただし、2026年3月卒業の者については、指導要録の記載に基づいて記入する。

(4) 「行動の記録」の欄

第3学年の状況は、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、その他学校生活全体にわたって認められる行動について、十分満足できる状況にあると判断される場合に「○」印を記入する。ただし、2026年3月卒業の者については、指導要録の記載に基づいて記入する。

(5) 「出欠の記録」の欄

第1・第2学年については指導要録に記載されたものを転記し、第3学年については12月末までの集計を記入する。ただし、2026年3月卒業の者については、指導要録の記載に基づいて記入する。各学年で欠席、遅刻等がある場合は、その主な理由を記入する。

(6) 「総合的な学習の時間の記録」の欄

第1・第2学年については指導要録の記載に基づいて記入し、第3学年については12月末までの学習活動および各学校で定めた評価の観点を記入し、生徒にどのような力が身に付いたかを記述する。ただし、2026年3月卒業の者については、指導要録の記載に基づいて記入する。

(7) 「総合所見」の欄

各学年について、人物、行動、学業、学校内外における部活動の取組状況、各種大会やコンクール等における記録・成績、表彰を受けた行為、ボランティア活動等について総合的に記入する。ただし、2026年3月卒業の者については、指導要録の記載に基づいて記入する。

(8) 「備考」の欄

第3学年の評定が5段階で評価されている場合や、順位が書けない場合、出欠の記録で書けない欄がある場合は、その旨をここに記入する。また、特記事項がある場合もこの欄に記入する。

活動記録報告書

学校名	中学校	氏名	番号	※
-----	-----	----	----	---

(裏面の注意をよく読んで、活動記録報告書および添付資料を作成してください)

課外活動・学外活動における実績を以下に報告します

[illegible]

上記の通り相違ないことを証明します

西曆 年 月 日

作成者の所属・部署

作成者氏名



課外活動・学外活動における実績

■課外活動・学外活動における実績とは、次の A、B、C のような内容で、中学校在学中に挙げた実績でなければならない。中学校入学以前のものは実績には含めない。

- A. 地区大会、県大会、それ以上の大会、各種コンクールで挙げた優秀な成績。
- B. 各方面で、客観的に認められる、卓越した技量、能力を有すること。
- C. 英語検定準2級以上の取得、漢字検定2級以上の取得、数学検定2級以上の取得、こども県展での推薦、特選受賞、読書感想文コンクールでの上位受賞等。

活動記録報告書および添付資料作成上の注意

■活動記録報告書と添付資料はクラス担任、保護者、団体の責任者等が作成する。

■活動記録報告書

- ・実績を「分野ごと学年順に」箇条書きにして、それぞれの実績に対応する添付資料の参照箇所と枚数を明示する。
- ・個人の実績でなく団体の実績（たとえば、野球、サッカー、吹奏楽等での実績）の場合は、本人の状況を把握する必要があるので、本人の団体でのポジション、役割、貢献度を必ず書き添えておく。
- ・運動部で「スポーツテスト」を実施していれば、その記録も書くことが望ましい。
- ・実績の分野が複数にわたる場合は、適当な代表者（たとえば、クラス担任）が一括して作成してもかまわない。あるいは実績の分野ごとにそれぞれの代表者が作成してもよい。
- ・実績の分野ごとにそれぞれの代表者が作成する場合や、1枚に書ききれない場合は2枚以上にして作成してもかまわない。
- ・相違ないことを証明する部分には、作成者の所属、部署を明らかにした上で、署名、捺印をする。

■添付資料

- ・活動記録報告書の実績を客観的に証明するもので、たとえば、資格を証明するもの、表彰状、新聞等のコピー（日付つき）などが該当する。
- ・用紙の大きさはA4サイズとする。
- ・添付資料がない場合にはその実績は評価できない。

本校の沿革・教育方針

本校は1920年に川崎幾三郎、宇田友四郎両氏により「他日国家の翹望^{きょうぼう}する人士の輩出を期する」として設立されました。当初は男子のみの少数英才教育を実践していましたが、時代の進展や学制の改革にともない、1947年から男女共学の高等学校および中学校となりました。生徒定数も大幅に増員し、新しい時代の教育に対応して大きな実績を挙げ、卒業生は国の内外を問わず、いろいろな分野で活躍しています。

建学の精神を具体化するため、その後の歩みの中で整えられてきた教育方針が「学問を重んじ、礼節を尊び、スポーツを愛する学校生活」というものです。自学自習の習慣を身に付け、文武両道を達成することをめざして、現在、中学生762名、高校生890名がこの学校で学んでいます。

寄宿舎（向陽寮）

1988年4月開寮 鉄筋コンクリート3階建

収容人数 男子約60名（女子寮はない） 本校舎南約600m

全室個室、冷暖房完備、ベッド、学習机、ロッカー、カーテン備え付け

ロビー、大食堂、浴室、シャワー室、学習室、集会室等完備

寮費 月平均74,000円（冷暖房費、食費2食分を含む）

卒業生の大学合格状況

本校では就職希望者は毎年皆無に等しく、ほとんどが大学進学を希望する。

土佐高等学校の2026年度大学入試合格者数（本校確認分）は次の通り。

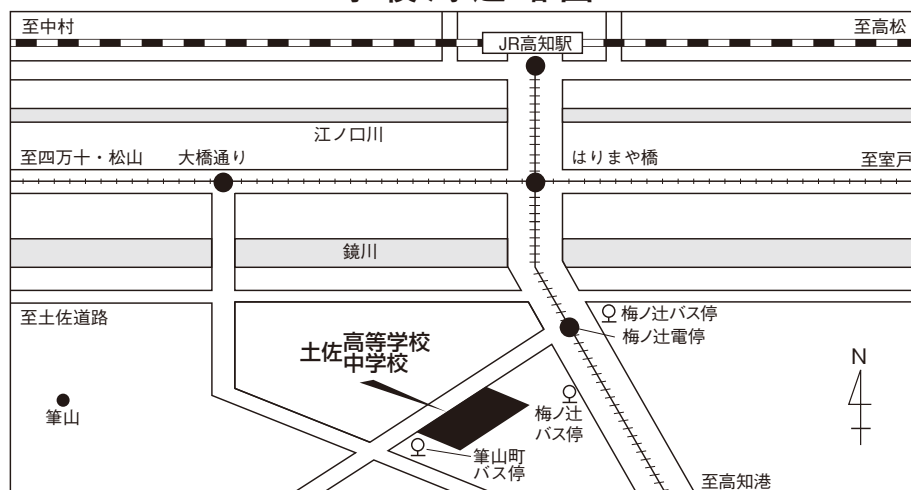
・国公立大学合格者数 合計165名

北海道3, 筑波4, 千葉3, 東京2, 東京学芸1, 東京農工1, 一橋1, 東京科学4, 横浜国立1, 金沢1, 名古屋2, 滋賀医科1, 京都4, 大阪11, 神戸5, 岡山10, 広島5, 徳島6, 香川7, 愛媛9, 高知31, 九州3, 熊本1, 東京都立1, 名古屋市立2, 京都府立2, 大阪公立6, 高知県立3, 高知工科6 など
〔国公立大学医学部医学科合格者数 31名〕

・私立大学合格者数 合計481名

青山学院4, 学習院1, 慶應義塾9, 国際基督教1, 駒澤4, 専修2, 中央14, 東京理科15, 東洋10, 日本7, 法政10, 明治13, 立教5, 早稲田17, 京都産業13, 京都女子6, 京都薬科6, 同志社37, 立命館34, 龍谷26, 大阪医科薬科3, 関西15, 近畿72, 摂南9, 関西学院37, 神戸薬科7, 兵庫医科1, 岡山理科8, 松山5, 防衛医科1, 自治医科2 など

学校周辺略図



■梅ノ辻電停下車徒歩3分



〒780-8014 高知市塩屋崎町一丁目1番10号
TEL 088-833-4394